

## ハネナガオオアブラムシ

トドマツなどモミ類の幹や枝につく大型のアブラムシ。翅（はね）のない成虫は体長6～7mm，暗い茶色，灰色または黒色。本州ではモミ類の害虫とされ，多発すると伸長低下や枝枯れを引き起こし，樹勢を低下させるといわれている。北海道でも普通にみられるが，これまでのところ被害記録はない。



1. 幼虫と成虫，体長最大6mm. 2000/6/5.

美唄市の庭のトドマツ。

【学名】 *Cinara longipennis*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) ， アブラムシ科 (Aphididae)

【分布】 北海道，本州，四国，九州；朝鮮，サハリン。

### 【特徴】

トドマツの幹や枝につく大型のアブラムシとして他にハットリオオアブラムシがある。この種の成虫は体長が4.5～5mmとやや小さい。また，頭部と胸部が黒く，腹部は黄土色である。

### 【生態】

宿主：モミ属（モミ，トドマツなど），イヌガヤ。

卵越冬。春早く孵化し，秋まで幹や枝で群生して世代を繰り返しながら吸汁加害を続ける。秋に幹，時に葉上に産卵する。

若い木に寄生するという文献もあるが，大きな木の枝に寄生することもしばしばある。

年間世代数は不明。アリ類が集まることはないようである。

### 【文献】

1917. Matsumura, S. A list of the Aphididae of Japan, with description of new species and genera. Journal of College of Agriculture, Tohoku Imperial University, Sapporo, 7 : 377-. (原記載, 形態)

1956. 井上元則. 北海道・東北地方の針葉樹に寄生するアブラムシ. 林業試験場北海道支場業務報告, 特別報告, 5 : 204-238.

(形態, 生態, 針葉樹の他のアブラムシについても解説)

1969. Inouye, M. Revision of the conifer aphid fauna of Japan (Homoptera, Lachnidae). 林業試験場研究報告, 228 : 57-102. (形態的特徴の追加, 生活史の概要, 針葉樹の他のアブラムシについても解説)
1977. 奥野孝夫, 田中寛, 木村裕. 原色樹木病害虫図鑑. 保育社, 大阪. (形態, 生態, 防除の解説)
1983. 森津孫四郎. 日本原色アブラムシ図鑑. 全国農村教育協会, 東京.

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ハネナガオオアブラムシ abura/hanenaga/  
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/2/8.  
musi.JPG

「写真1」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2000.